

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年3月31日（月）

2 確認箇所

J9タンクエリア（図1）

3 確認項目

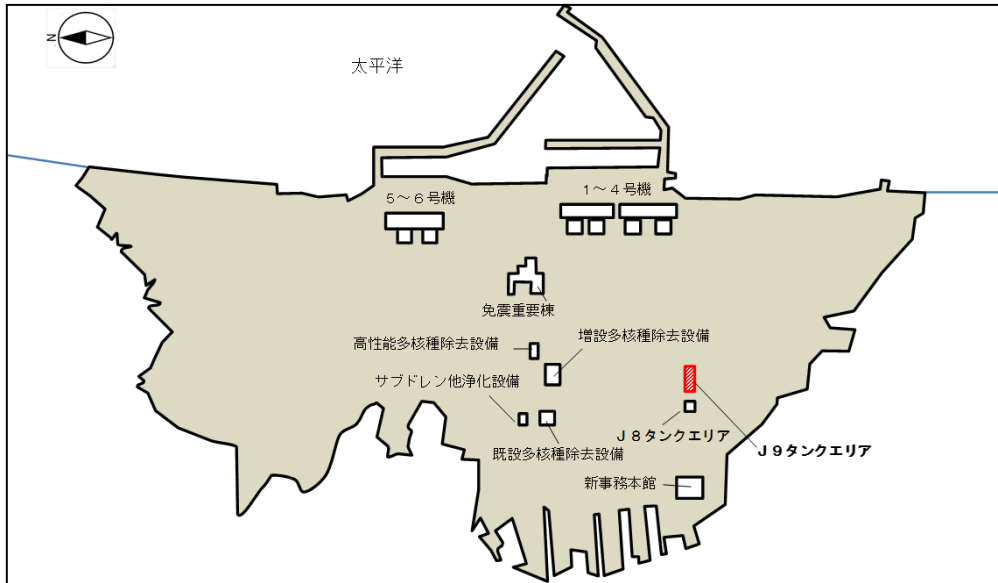
J9タンクエリアのタンク解体工事の状況

4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（ALPS処理水）をタンクで貯留しているJ8及びJ9タンクエリアは、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設が予定されており、うち、J9タンクエリアではエリア内に設置された溶接型タンクの解体が令和6年度下期から令和7年度末にかけて計画されている。

本日は、令和7年2月から実施しているJ9タンクエリアのタンク解体工事の進捗状況について確認した。（前回確認：[令和7年2月14日](#)）

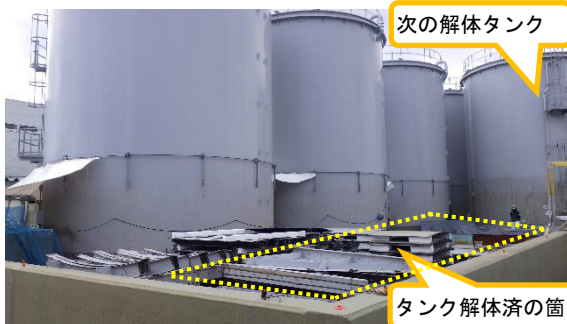
- ・現場では全12基中3基目の溶接型タンク解体が完了しており、解体した3基目のタンクの解体片をコンテナに封入するために小割する溶断作業を、タンク減容ヤード及びJ9タンクエリア内にて実施していた。（写真1）
- ・タンク減容ヤードは単管パイプで周囲と区画されており、単管パイプの間には飛散防止用ネットが設置されていた。（写真2）
- ・J9タンクエリアの西側に単管パイプで区画されたエリアがあり、解体された1・2基目のタンクやその付属品の解体片が仮置きされていた。（写真3）
- ・確認を行った範囲において、解体片の飛散等の異常は確認されなかった。
- ・東京電力は、溶接型タンクの解体作業は今回の作業が初めてとなることから、手順等を確認しながら他のタンク解体に向け知見を蓄えていきたいとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
J9タンクエリア外観



(写真1-2)
J9タンクエリア解体現場の状況



(写真1-3)
タンク解体片の溶断作業の状況
(タンク減容ヤード内)



(写真1-4)
タンク底板の溶断作業の状況
(J9タンクエリア内)



(写真2)
タンク減容ヤードの状況



(写真3)
1・2基目の解体片
仮置き場所の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。